



# 木材製品流通アンケート 概要版

調査期間：2022.12.26～2023.1.25



一般社団法人 **全国木材組合連合会**

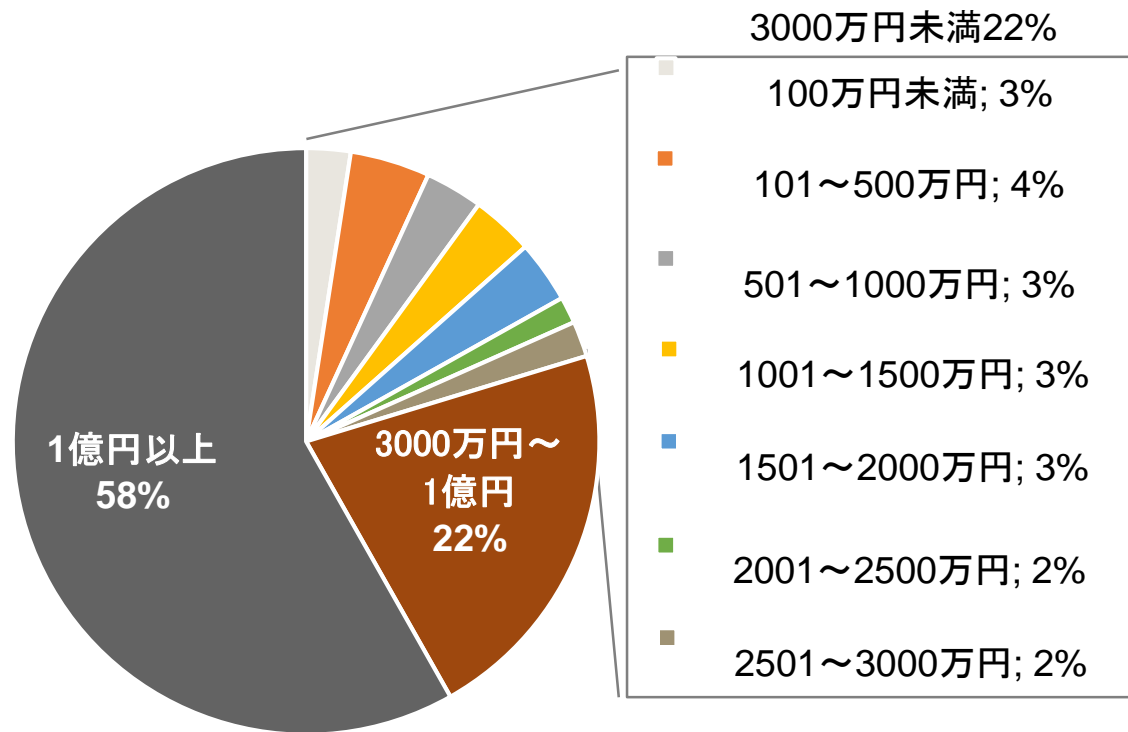
Japan Federation of Wood-industry Associations

# 調査概要

全国木材組合連合会会員を主に木材製品流通を営む企業2,396社を対象に調査を実施

回答：42都道府県、463社より回答

## 令和3年度の住宅建築向け木材製品の販売金額

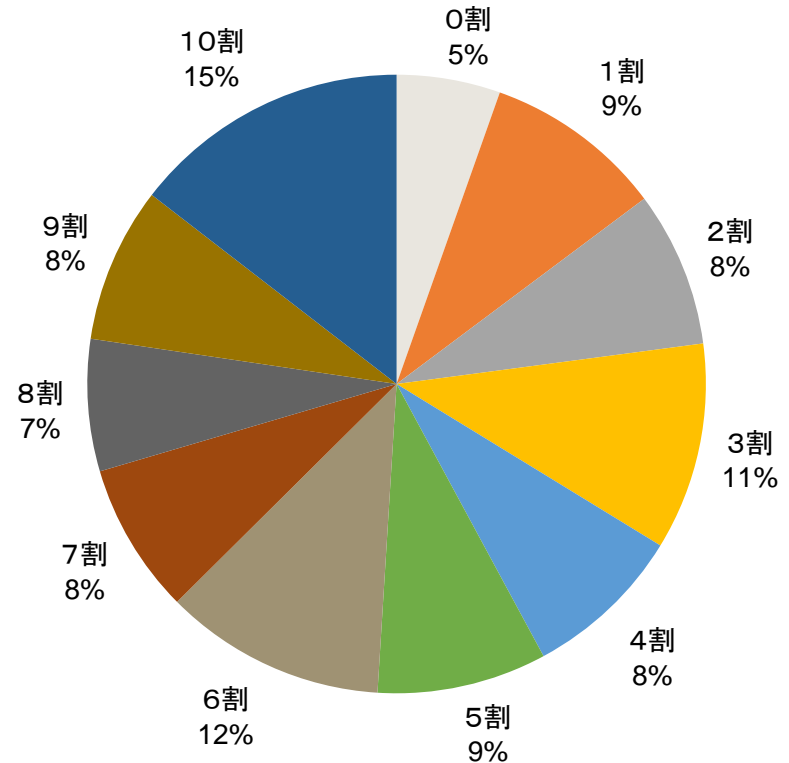


北海道	2
東北地方	13
関東地方	121
中部地方	155
近畿地方	33
中国地方	77
四国地方	14
九州・沖縄地方	48
合計:	463

# 基礎情報：事業内容と割合

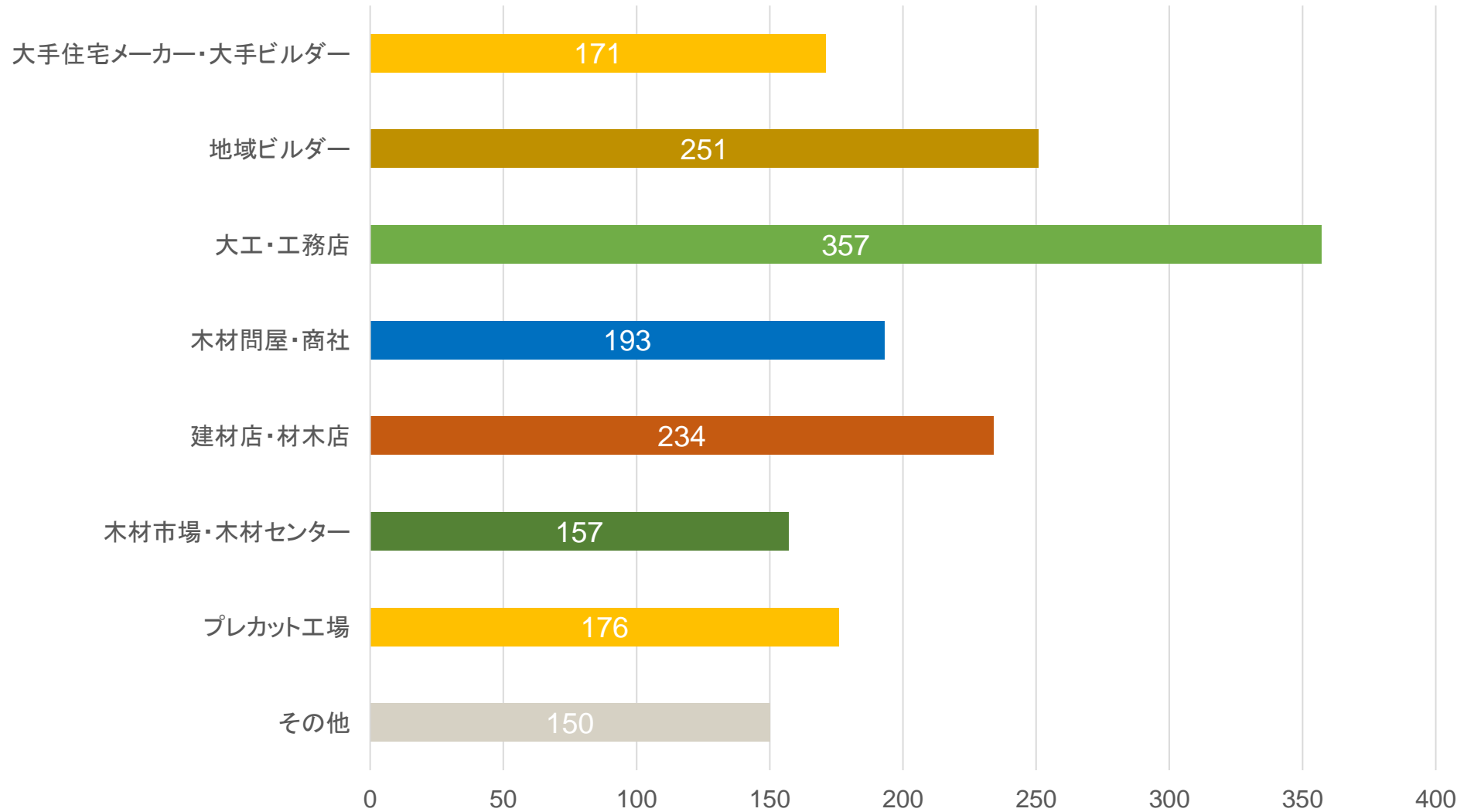
463社のうち406社が木材製品販売で売り上げを計上  
その割合は以下のとおり

	事業者数	割合
0割	22	5.42%
1割	38	9.36%
2割	33	8.13%
3割	44	10.84%
4割	34	8.37%
5割	36	8.87%
6割	47	11.58%
7割	32	7.88%
8割	28	6.90%
9割	33	8.13%
10割	59	14.53%
総計	406	100.00%



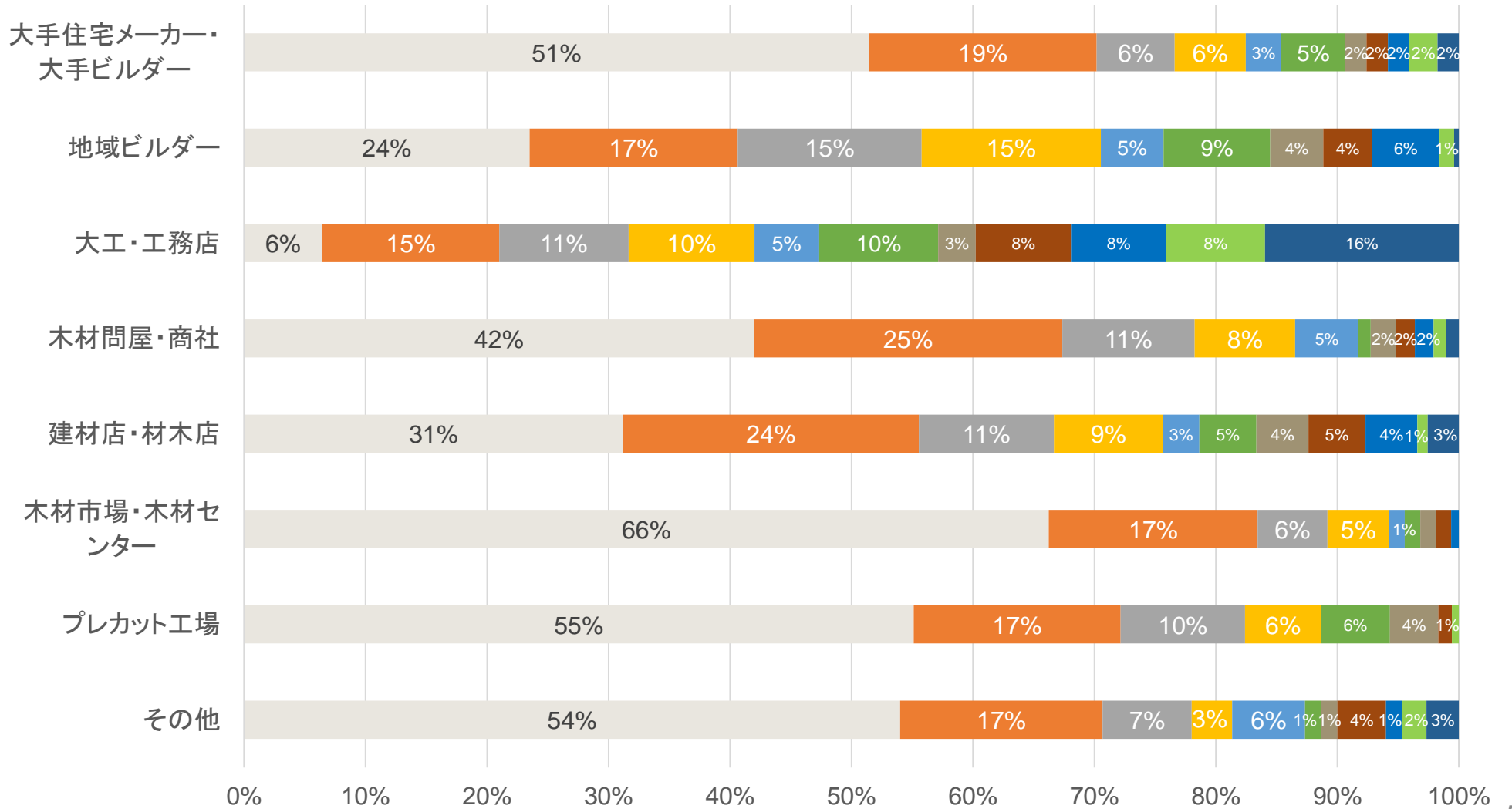
# 木材製品の納品先と割合（1）

## 木材製品の納品先



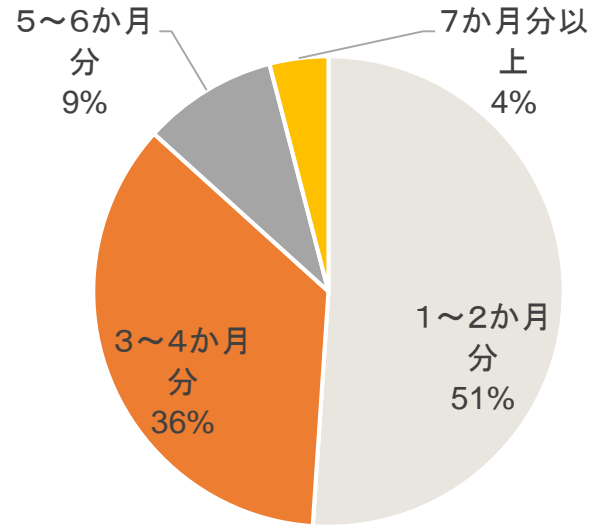
# 木材製品の納品先と割合（2）

納品先の割合 0割 1割 2割 3割 4割 5割 6割 7割 8割 9割 10割



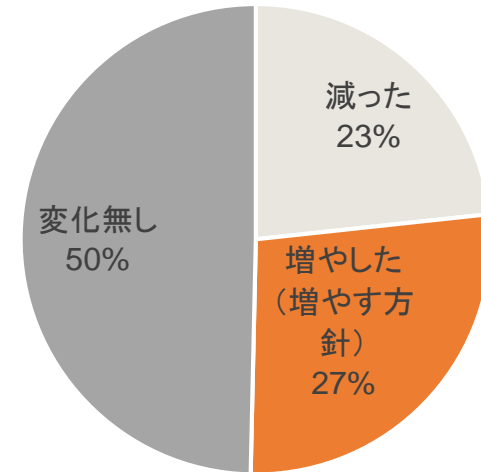
# 製品在庫の運用方針

## 在庫確保



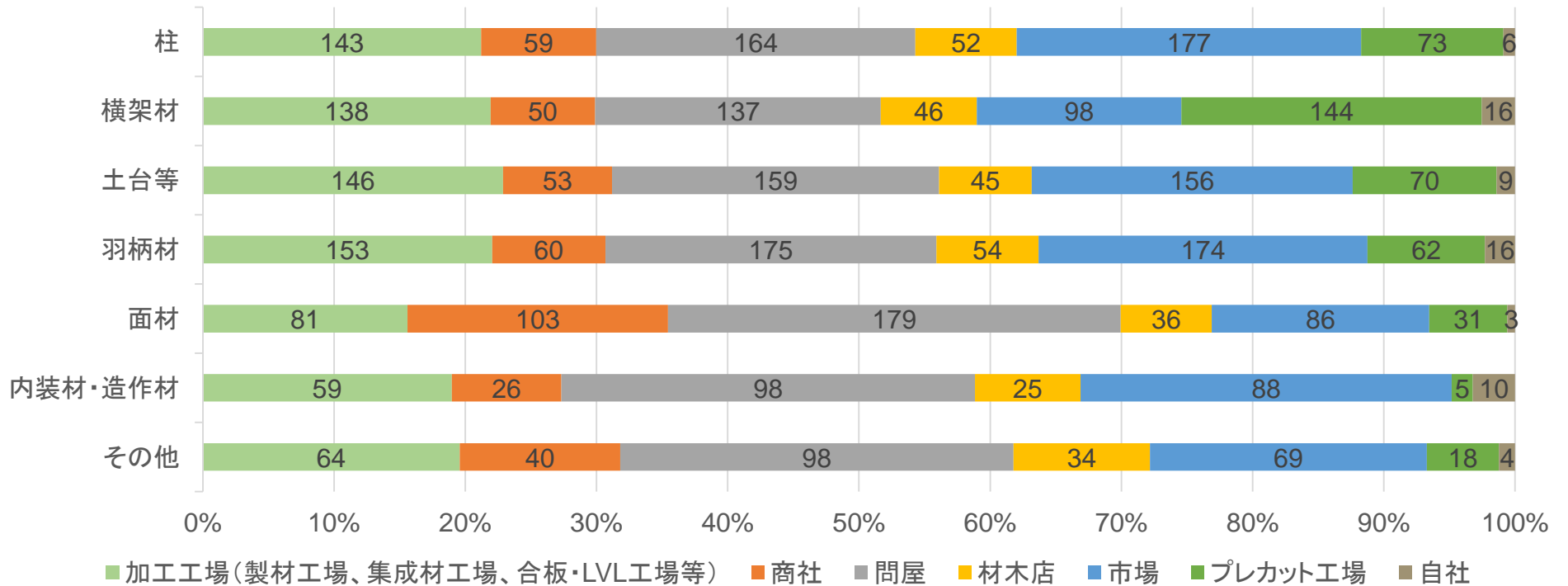
	事業者数	割合
1~2か月分	215	51.07%
3~4か月分	150	35.63%
5~6か月分	39	9.26%
7か月分以上	17	4.04%
総計	421	100.00%

## ウッドショック以前と比較した在庫量



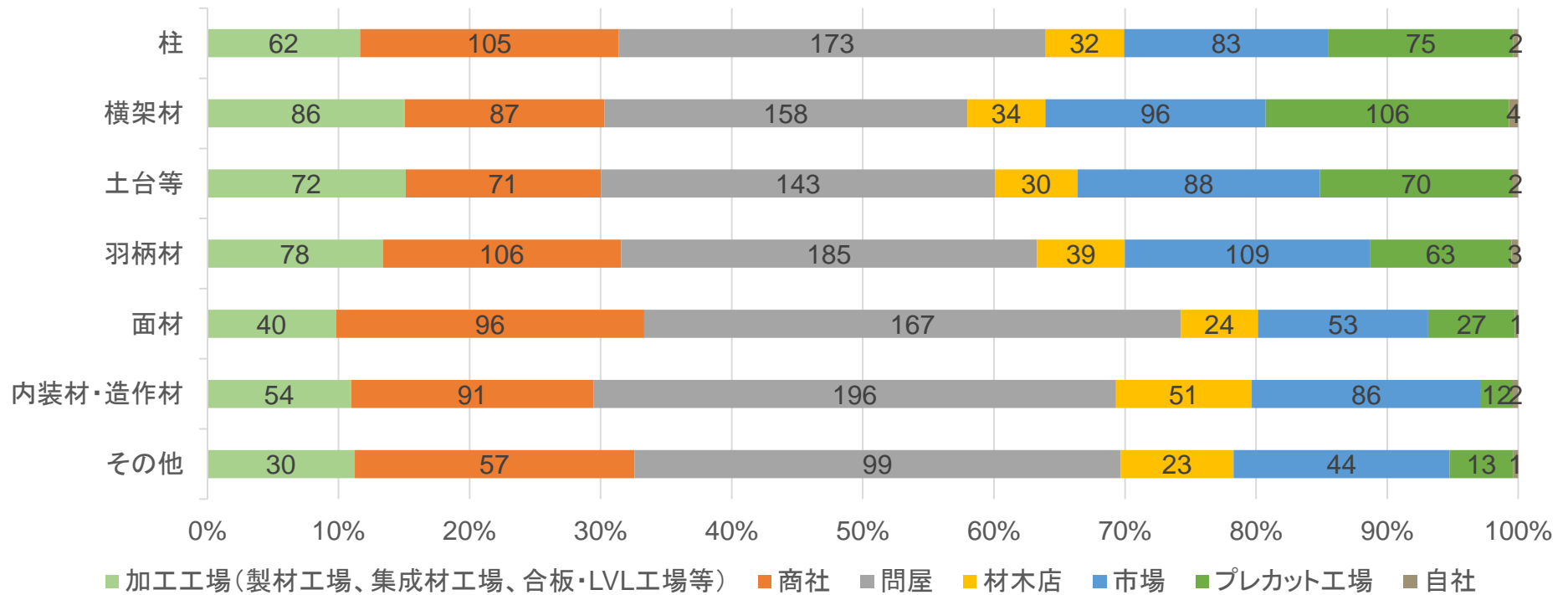
	事業者数	割合
減った	99	23.29%
増やした(増やす方針)	115	27.06%
変化無し	211	49.65%
総計	425	100.00%

# 各部材の主な調達先（１）国産材



事業者数	柱材	横架材	土台等	羽柄材	面材	内装材・造作材	その他
加工工場(製材工場、集成材工場、合板・LVL工場等)	143	138	146	153	81	59	64
商社	59	50	53	60	103	26	40
問屋	164	137	159	175	179	98	98
材木店	52	46	45	54	36	25	34
市場	177	98	156	174	86	88	69
プレカット工場	73	144	70	62	31	5	18
自社	6	16	9	16	3	10	4
総計	674	629	638	694	519	311	327

# 各部材の主な調達先（２） 輸入材

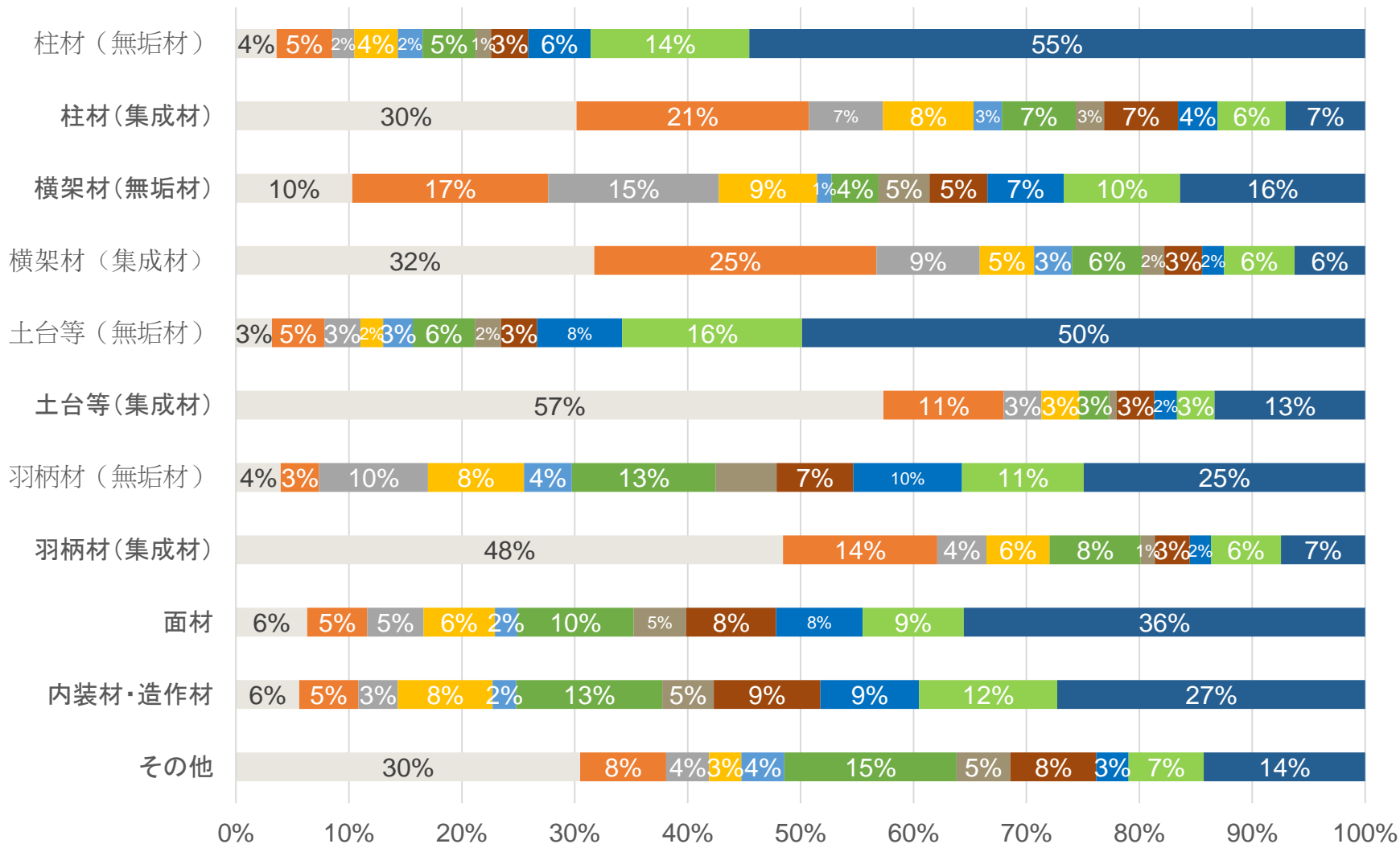


事業者数	柱材	横架材	土台等	羽柄材	面材	内装材・造作材	その他
加工工場(製材工場、集成材工場、合板・LVL工場等)	62	86	72	78	40	54	30
商社	105	87	71	106	96	91	57
問屋	173	158	143	185	167	196	99
材木店	32	34	30	39	24	51	23
市場	83	96	88	109	53	86	44
プレカット工場	75	106	70	63	27	12	13
自社	2	4	2	3	1	2	1
総計	532	571	476	583	408	492	267



# 国産材の取扱割合

国産材の取扱割合 0割 1割 2割 3割 4割 5割 6割 7割 8割 9割 10割



# 国産材の取扱割合：樹種

## 柱材

事業者数	無垢材	集成材
スギ	334	103
ヒノキ	288	35
国産カラマツ	6	6
ベイマツ	42	36
ベイツガ	19	4
ホホワイトウッド	38	184
レッドウッド	20	123
ロシアアカマツ・エゾマツ	13	8
国産材LVL	0	0
輸入材LVL	0	0
総計	760	499

- その他  
(無垢材)  
青森ヒバ  
能登ヒバ  
米ヒバ  
米ヒバ・スプルス  
・米杉  
(集成材)  
その他(HB)  
トドマツ  
ハイブリッド  
青森ヒバ  
ホワイトメラピー  
レッド  
(その他)  
青森ヒバ

## 横架材

事業者数	無垢材	集成材
スギ	241	76
ヒノキ	106	25
国産カラマツ	4	15
ベイマツ	265	146
ベイツガ	14	3
ホホワイトウッド	15	53
レッドウッド	50	219
ロシアアカマツ・エゾマツ	4	13
国産材LVL	0	0
輸入材LVL	0	0
総計	699	550

- その他  
(無垢材)  
ハイブリッド  
青森ヒバ  
赤松  
地桧  
能登ヒバ  
米ヒバ・スプルス  
・米ヒバ  
地松  
(集成材)  
チーク、メラピー  
青森ヒバ  
ハイブリッド  
ベイツガ  
(その他)  
青森ヒバ  
赤松

## 土台等

事業者数	無垢材	集成材
スギ	64	13
ヒノキ	326	48
国産カラマツ	5	13
ベイマツ	84	27
ベイツガ	92	13
ホホワイトウッド	4	6
レッドウッド	7	40
ロシアアカマツ・エゾマツ	1	6
国産材LVL	0	0
輸入材LVL	0	0
総計	583	166

- その他  
(無垢材)  
アピトン  
青森ヒバ  
能登ヒバ  
米ヒバ  
栗  
(集成材)  
チーク、メラピー  
青森ヒバ  
米ヒバ  
(その他)  
樹種不明  
青森ヒバ  
米ヒバ  
防腐工台

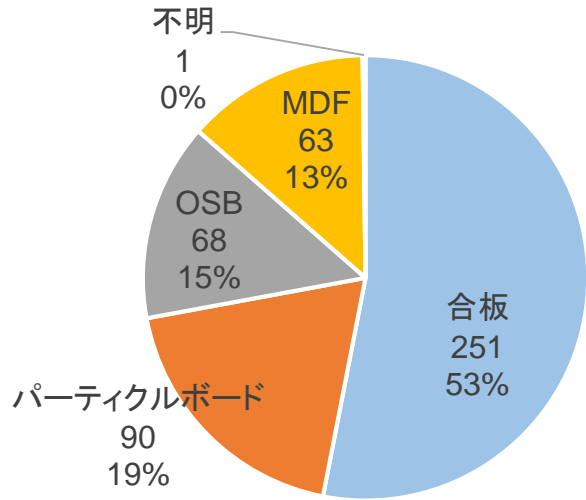
## 羽柄材

事業者数	無垢材	集成材
スギ	324	64
ヒノキ	191	22
国産カラマツ	4	3
ベイマツ	173	18
ベイツガ	40	4
ホホワイトウッド	143	86
レッドウッド	41	74
ロシアアカマツ・エゾマツ	86	11
国産材LVL		
輸入材LVL		
総計	1002	282

- その他  
(無垢材)  
ヒバ  
青森ヒバ  
能登ヒバ  
米ヒバ  
スプルス  
トドマツ  
(集成材)  
チーク、メラピー  
ポプラ  
リサイクル  
青森ヒバ  
(その他)  
青森ヒバ  
ポプラ

# 国産材の取扱割合：部材の種類

## 面材

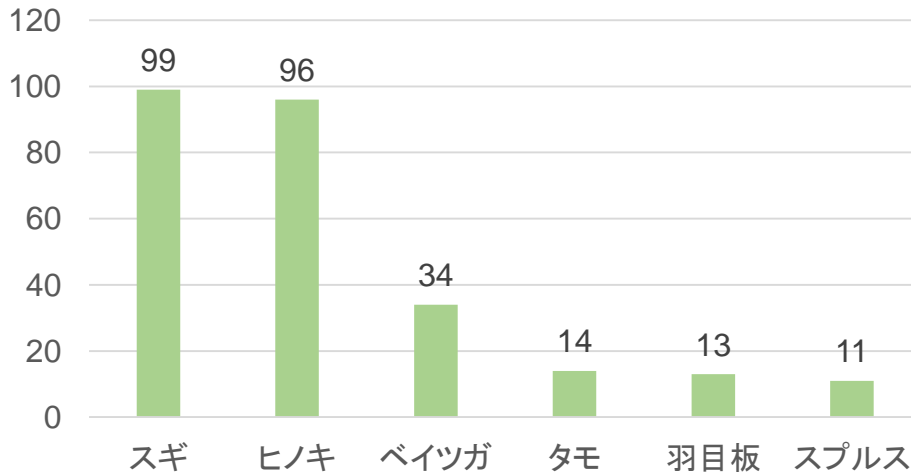


### ■その他

- スギ
- ダイライト
- 野地板
- EXハイパー
- ノダハイベスト
- ウッド
- 矢板
- スターウッド
- スギ・Jパネル
- 羽目板
- ベイツガ
- 米ヒバ
- スプルス
- 米スギ
- アッシュ
- オーク
- アピトン
- バツ

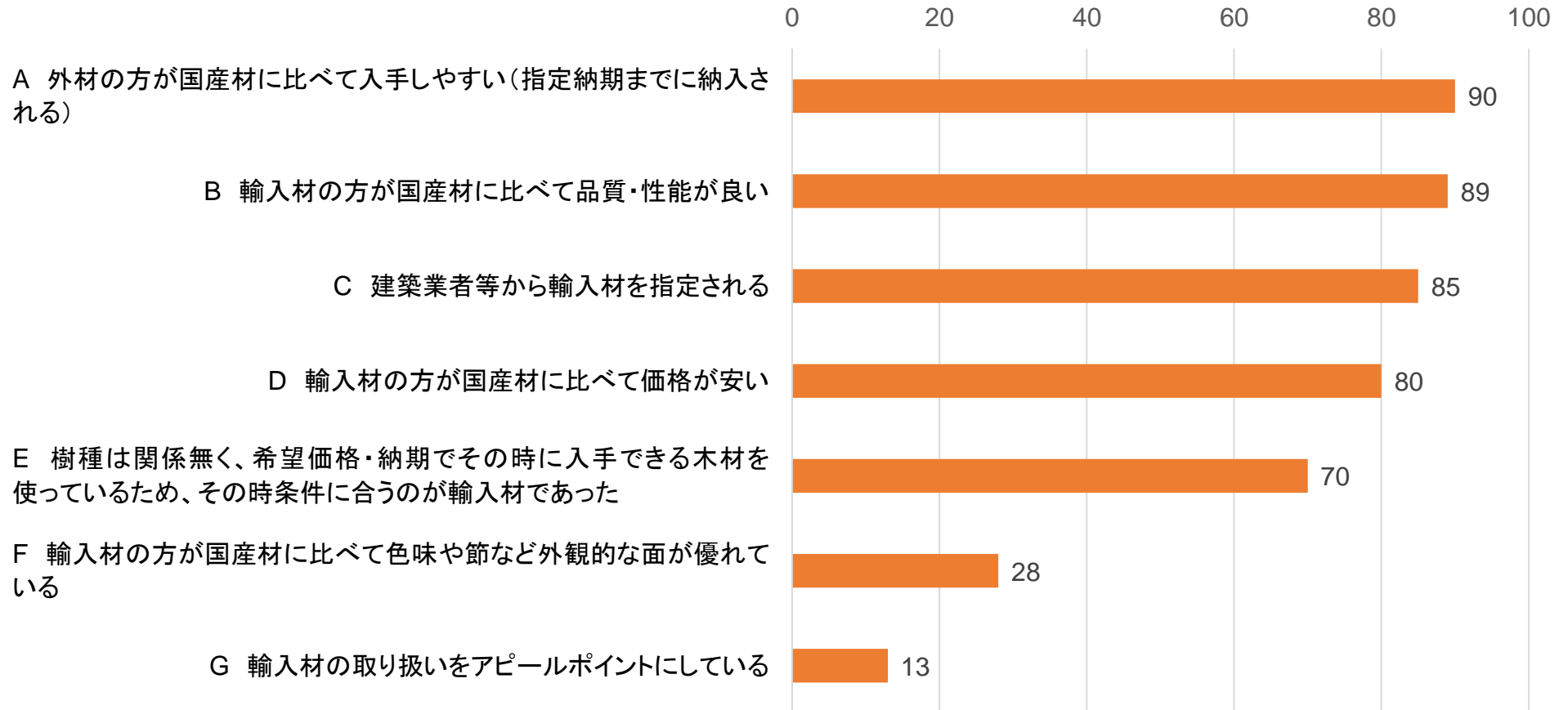
部材の種類	事業者数
合板	251
パーティクルボード	90
OSB	68
MDF	63
不明	1
総数	473

## 内装材・造作材 自由記載(上位:回答事業者数10以上)

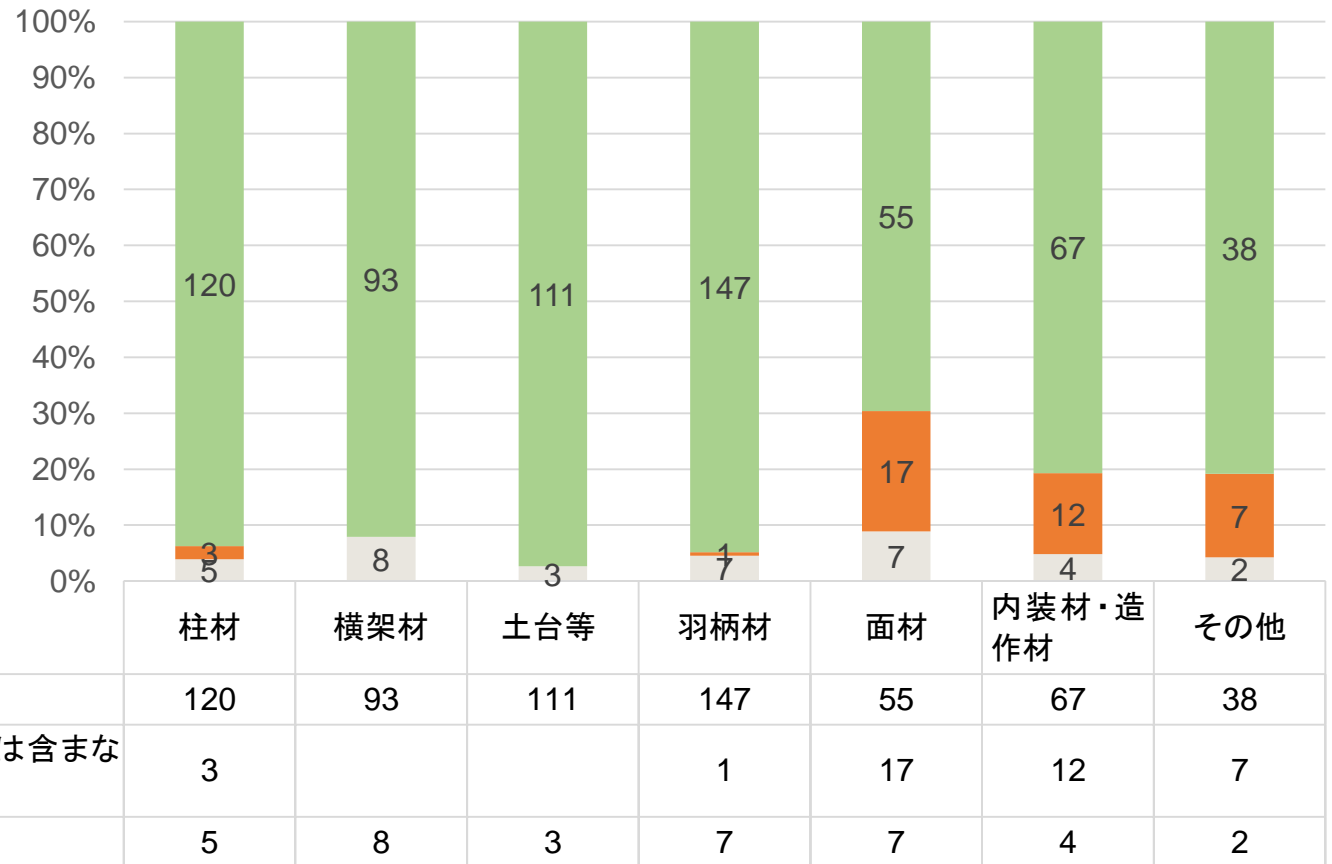


種類	事業者数
スギ	99
ヒノキ	96
ベイツガ	34
タモ	14
羽目板	13
スプルス	11
総計	440

# 国産材を取り扱わない理由



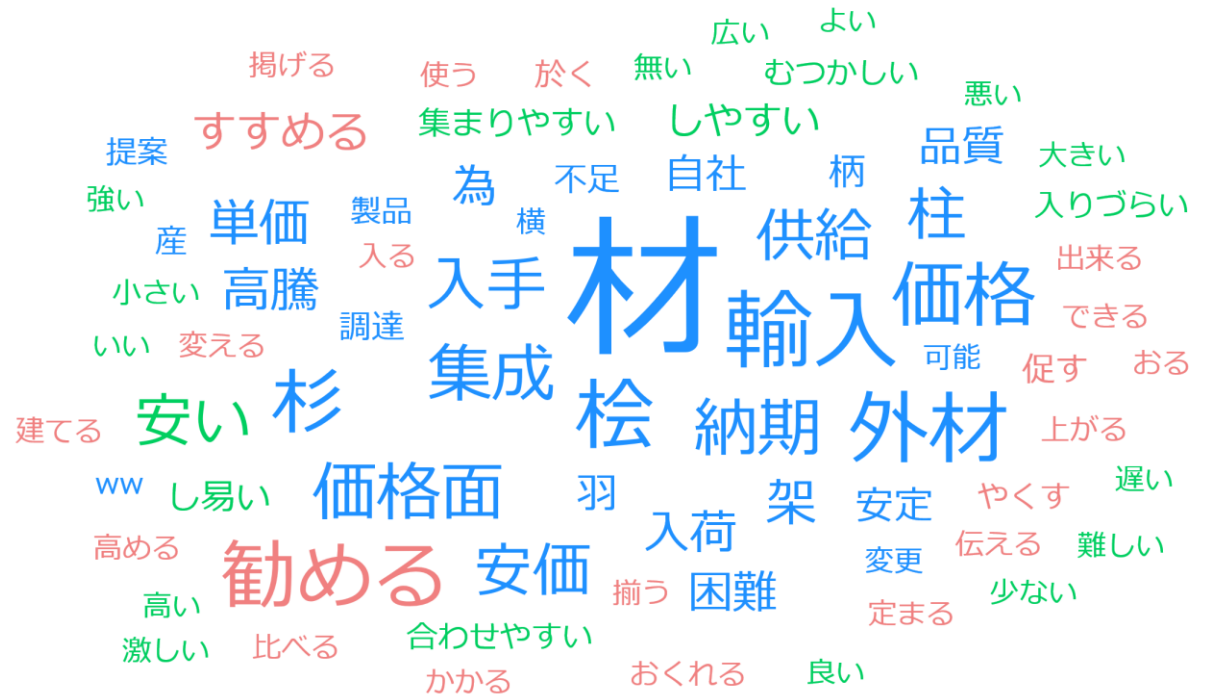
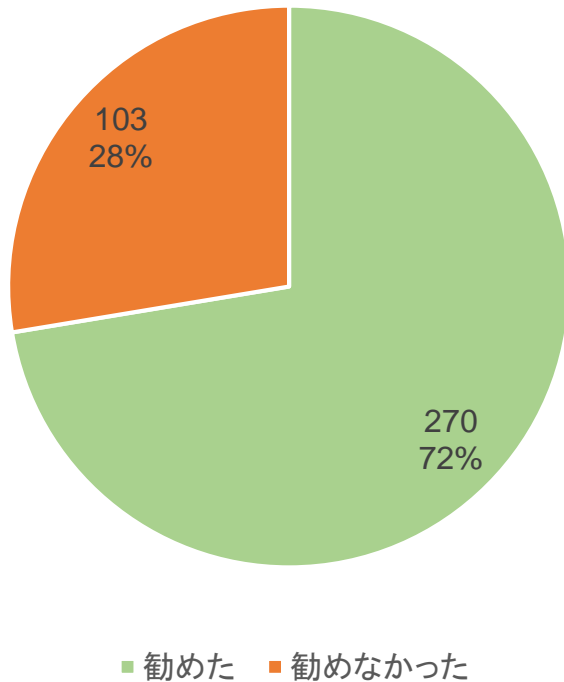
# ウッドショック後の変化



# 国産材の利用の提案

国産材の利用を勧めたか？

国産材の利用を勧めた理由 キーワード



# 国産材の利用の提案：

## 勧めた理由

WW集成柱であったのを桧無垢柱を勧めた・WW羽柄材であったのを桧/杉を勧めた

しかしながら国産材も高騰・品薄になった為。あまり効果がなかった。

その当時はサプライチェーンの混乱で外材の手当てが悪く、国産材の方が比較的安定して納期が読めた為

ヨーロッパ材は今後安定しないから杉桧を使え。

レットウッド集成材からハイブリットに変更

レッドウッド集成材柱を桧柱に変更した

価格が安くなる為、外材の代わりに国内産スギや松での代用品をすすめた

横架材、羽柄材で輸入材より単価が安くなったため

価格が安くなる為、外材の代わりに国内産スギや松での代用品をすすめた

元から国産材を勧めており、より強く広く勧めるようになった。

仕様について柔軟に対応してもらえるよう促した

自社調達の部材は全て国産材なので当然のごとく国産材の建築部材を勧めた

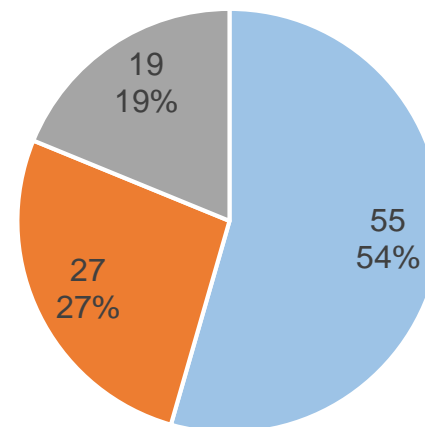
日本の豊かな山の木を使って家を建てる事が大事といつも伝えている！

輸入材の価格の高騰と、安定供給に不安が出てきたため。

輸入材の納期が定まらず価格の変動も大きかったため

予算がなく安価な商品を希望された場合は国産材を勧めた

## 勧めなかった理由



- 入手が難しかったため(指定納期までに量が集まらなかった、等)
- 価格が高かったため
- 輸入材に比べて、品質・性能が劣るため

その他：

輸入材に比べて、品質・性能が劣るため

輸入材 指定のため

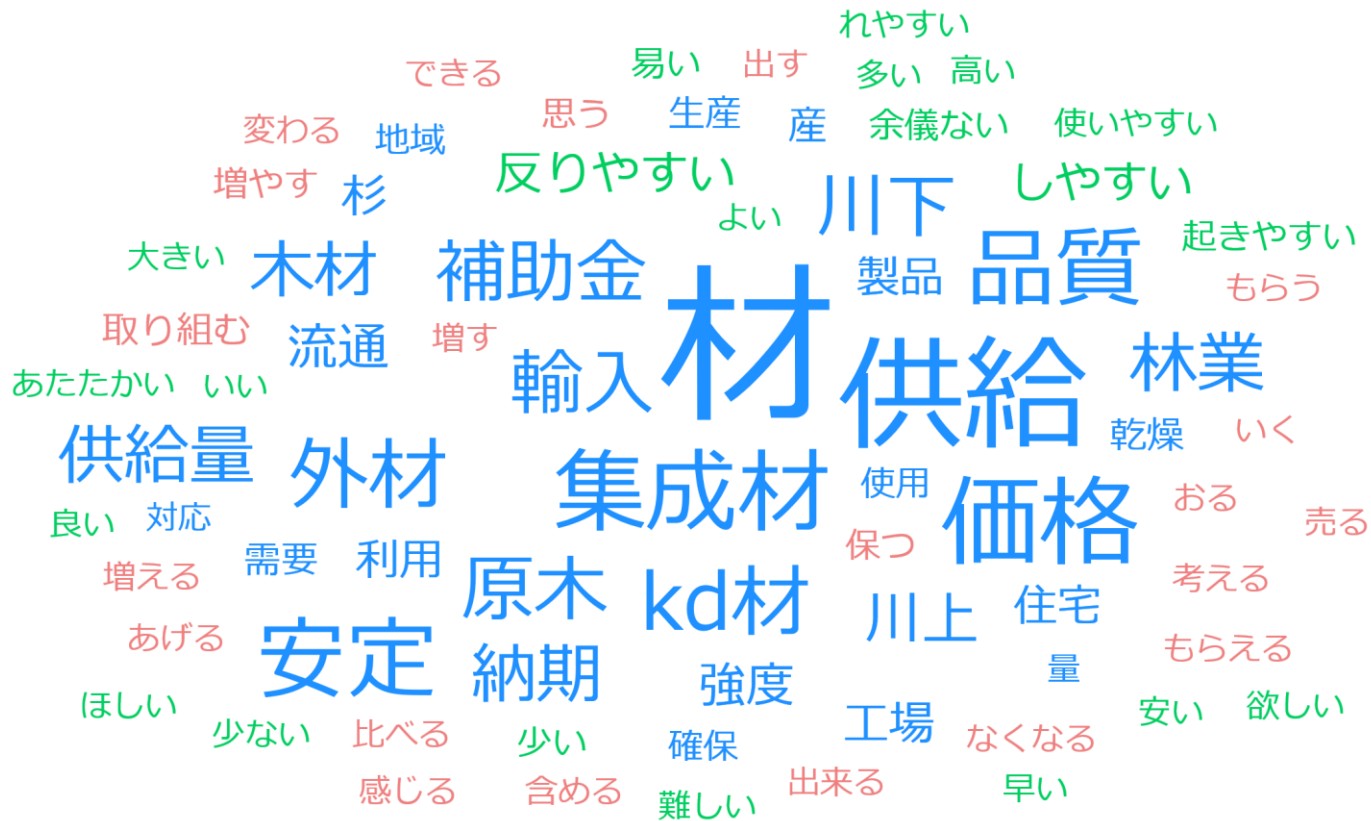
問屋から国産材の情報がない

材質は購買先メーカーに依存しているため

すでに国産材を利用していたから

# 国産材の供給への改善点について

自由記載 キーワード





# 国産材の供給への改善点について

安定した量と価格を保つこと・輸入材の価格に左右されないこと・国産材が価格の主体となること

川中のニーズにあった川上の供給力・中小製材工場(大型工場でなく)の生産力拡大につながる設備投資補助枠の拡大

内地材の問題点は①山の搬出→運搬→製造での生産性の低さ。②品質面→樹種の違いによる強度不足。KD材の供給力不足。集成材化の遅れ①は価格コストに直結するが改善は大変困難である出材が増えても儲かる産業にならない！！

ある程度の在庫量の確保が重要である。

ウッドショックの効能として国産材の評価があがり、使いやすくなりました。性質(木質)といい価格といいたいへん合理的な材料となったと思います。国産材の杉、松、ヒバの先行きは明かるいと思います。

安ければ、集成材が大規模工場により流通量が安定して、増えれば、利用したい。

安定した供給と価格

安定供給 価格変動をしない 定価

横架材の納期が米松、集成材と比較すると日数がかかる。

横架材納期に問題あり

価格、供給面共に安定性があれば利用しやすい。製造工場が運営できる価格で売買されれば問題ないと思うが、売る側も買う側も価格勝負ではなく品質勝負になればSDGsも追い風になり利用されやすいと思う。

各県産材等の指定が流通業者にとっては障壁になる場合が多々あります。国産材だけのくくりで良いのでは。

乾燥とモルダールを含めた加工設備への補助の充実 JAS制度の拡充の促進

供給自体は比較的安定しているように感じるが、より業界を活発にするには川上のインフラ整備は急務であり、効率よく市場に材が出荷される供給網は必須だと考える。

供給面での不安(納期等) 乾燥材の(JAS対応) 入手先が少ない

巾や長さによって単価がちがいきすぎる。米松と同じm3単価の設定になれば利用すると思う

国産材をどこから入手したらいいかわからない。

在庫を増やすなど、輸入材と同じような発注後の安定した納期 欠品がないような体制を作る

山、製材所、問屋の更なる国産材へのアピール等。

集成管柱については国産生産だけで見れば杉が50%を超えた。それによって、住宅メーカーを中心に短期間でシェアが拡大した。安定した品質、供給体制の整備、それから少なくとも3ヶ月タームの安定価格が利用拡大のポイントと言える。

新築需要が減少し、大規模工場が飽和状態になるのは目に見えている。今後のリフォーム需要に見合った少量・多品種生産の小規模製材所を都道府県別に整備すべき。

品質の向上 価格の安定

品質を含めた安定供給(乾燥、加工精度、グレーディング)

補助金制度があっても小規模の製材所はいじっていくのは大変。優良木材(地元材)にとらわれず、合法木材でもよくするべきと思う。